

週次報告、MTG とりまとめ (2015/2/22 時点)

1. 各担当者の進捗報告、来週の予定

担当者 (部門)	今週の進捗	来週までの予定
KY (ネギふり機構)	進捗報告のとおり (別紙1)	動作確認 継続 回路見直し
Ken_ini	<p>そろそろ年度末ですので、来年度も引き続き私のフィールドワークにご協力頂きたく、2点お話しさせて頂きたいと思います。</p> <p>1点目ですが、来年度も「フィールドワークへの協力のお願い」は、研究期間以外は今年度と同じの、次のリンク先のものを使わせて頂きたいと思います。 (別紙2)</p> <p>2点目ですが「協力が終了したことの文書による確認」を希望された方には、4月1日以降に同文書をメール添付にてお送りしたいと思います。</p> <p>以上2点につきまして、よろしくお願ひします。 ご意見、ご質問などある方は、IRCなどでお願ひします。</p>	
Hem	2/15 週次報告とりまとめ	
機響屋 (無線システム)	<p>先ほど見つけてしまったマイコンのマニュアル読みはじめ。</p> <p>必要な部分を読み終わったら報告書書きます。</p>	
yuitirou528	<p>プリアンプは一応完成しましたが特性などは未計測です。いつか機材借りて測ってみたいと思います。</p>	
Sizuya	<p>導入済み</p> <p>管理システムのトップページ余剰スペースに Google スプレッドシートを埋め込み表示するよう設定してもらいました。</p> <p>主に進捗管理等に利用します。</p>	

2. MTG とりまとめ

(雑談)

進捗報告

作成日：2015年2月22日

作成者：KY

1.先週からの進捗内容

- ・動作確認継続中
- ・実装

電源試作回路の動作確認を行った。

LTC6991の動作確認をするのに10分は長すぎるので

1秒間隔でオンオフするように定数変更した。

その結果、正常動作していないことが判明した。

原因はリセット信号がハイインピーダンス状態になっていたために動いているように見えていただけであった。

(リセットをグラウンドに落とすと動き出す)

他にも不具合がないか確認を行う。

2.今ある課題、問題

3.解決に向け困っていること

4.その他

5.次に試す項目

- ・動作確認継続
- ・回路見直し

フィールドワークへの協力をお願い

研究題目：ソーシャルファブ리케이션の発展を見据えた実証的研究

研究期間：平成26年4月1日～平成27年3月31日

研究者：北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院

国際広報メディア専攻博士後期課程 渡辺謙仁

本学へ提出するための博士論文の執筆に向けて研究中

共同研究者（指導教員）：北海道大学情報基盤センター准教授 田邊 鉄

研究の目的

本研究は、Maker コミュニティやニコニコ技術部などに見られる、他者と共にあるものづくりを意味する「ソーシャルファブ리케이션」に関わる問題を、みなさんとの積極的関わり合いも伴いながら解明し、新たな説明理論を展開および産出することです。また、得られた知見を基に、みなさんと共にソーシャルファブ리케이션をより良いものにする可能性を探っていきます。

フィールドワークの方法

本研究の目的を達成するための方法の一環として、オンラインおよびオフラインでの、みなさんに対するインタビュー調査、参与観察および資料収集を計画しております。私からみなさんにお尋ねすることがありますが、その内容はみなさんの実践についてのお考えやご意見です。インタビュー調査や参与観察の様子を録音または録画させていただいた場合、そのデータは研究者である私が責任をもって厳重に管理し、私と私の共同研究者以外にお話の内容が漏れることのないよう注意することをお約束いたします。

研究協力の任意性

フィールドワークへの御協力の同意は、あなたの自由な意思でお決めいただくものです。ご同意いただけても、決してあなたの不利益になるようなことはありません。ご同意いただけた後でも、あなたが希望されればいつでも同意を取り消すことができます。また、研究協力者は、すべての調査に協力しなければならないというものではありません。あなたが望む場合は、フィールドワークへの協力が終了した後、協力が終了したことを確認する文書を発行いたします。

裏面へ続きます

個人情報や秘密の保護

フィールドワークで得られた個人情報や秘密は、私と私の共同研究者以外に共有されたり、本研究以外の目的で用いられたりすることはありません。この文書において「個人情報」とは、「個人情報の保護に関する法律」第二条による定義である「生存する個人に関する情報であつて、当該情報に含まれる氏名、生年月日その他の記述等により特定の個人を識別することができるもの（他の情報と容易に照合することができ、それにより特定の個人を識別することができることとなるものを含む。）」を言います。技術情報や業務上のノウハウなどの研究上不必要なデータは記録せず、知り得た秘密は公開しません。学会や学術雑誌における研究成果の公表においては、個人情報の守秘に細心の注意を払い、あなたの名前や身元などのプライバシーに関することは一切発表しません。当初の共同研究者は私の指導教員のみですが、共同研究者に変更がある場合には、別途、文書による説明を行い、あなたの同意を求めます。個人情報や秘密に関する記録は、博士論文を提出するか、執筆を中止した後、破棄します。また、あなたが望む場合は、研究成果の事実性の確保と、個人情報や秘密の守秘ができていないかどうか、研究成果の公開前にあなたの確認を求めます。

教務委員会の承認

本研究は、北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院教務委員会の承認を得て、許可された研究計画に従って実施されます。

フィールドワークに関してご質問がありましたら、遠慮なくお尋ねください。十分に説明させていただきます。以上のことをご理解いただき研究協力に同意していただける場合には、Word 文書「フィールドワークに関する同意文書」に必要事項を記入のうえ、メール添付にて送信するか、印刷して郵送または手渡しで私まで提出していただきますよう、よろしくお願い申し上げます。同意表明を簡便に済ませたい方は、Web フォームでも同意表明できます。なお、控えとして、同意文書を電子的に保存するか、印刷して保管してください。

北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院 国際広報メディア専攻博士後期課程

渡辺 謙仁

住所：〒060-0811 札幌市北区北 11 条西 5 丁目

北海道大学情報基盤センター・デジタルコンテンツ研究部門田邊研究室気付

電話：011-706-3226

メール：t_watanabe@imc.hokudai.ac.jp